

1

説明文の出典は鷲谷いづみ『自然再生』(中公新書、2004)です。出題した個所は、第7章にある、環境への取り組みに関して、単なる環境保護ではなく、人間と環境との調和をめざし、積極的に人間が環境に関与していくべきだとする、積極的共生型戦略を説いた文章です。

問1

(1)「第三の対環境戦略」の本文のこれより前の表現を用いて説明する問題です。前を見ますと、まず3行目「この戦略」が同じ内容ですので、さらにその前の1行目「環境との調和の途を探ろうという対環境戦略…」とあります。このあたりをまとめます。

問2

傍線(2)「生物多様性をどのように維持するか」に関する設問です。次の行の10行目に「生物多様性は、ヒトによる適度な働きかけによってこそ維持されるものである」とありますので、「ヒトが適度に働きかけること。」が答えです。

問3

傍線(3)「ただ保護し、自然の回復を待つ」と同じ内容の個所を本文から15字以内で抜く問題です。15行目「受動的に時の流れにみをまかせる」が同様の内容です。

問4

傍線(4)「不健全化が著しく進んだ日本列島の生物生産システム」の説明として最もふさわしいものを選ぶ問題です。傍線部の直前に「征服型戦略の帰結として」あるように、人為的なものですから、選択肢のうち、自然のものとしている、アウはまず除かれます。残ったイエのうち、「不健全」「生産システム」と合致するのは、イとなります。

問5

傍線(5)「学術の強化」の説明として最もふさわしいものを選ぶ問題です。傍線部の直前に「積極的共生型戦略を科学面から支える」とあり、これは技術的な方面を述べているので、アの「価値の転換を図」ウの「人間の生き方を最優先…」というのは合致しません。イの「生存空間を制限していく方向」というのは「積極的共生型」と方向が異なりますので、正解はエとなります。

問6

傍線(6)「フクロウのためというよりは、人間のために健全な生態系を維持する」とありますが、フクロウのための生態系の維持がなぜ人間のためになるのですか、という設問です。上段28行目以降に、ヒトのためか他の生物のためかという2分法は意味がないと書かれています。その中の「ヒトも生態系の一員であり」という個所と、理由を示す「～から。」と組み合わせれば、解答となります。

問7

四角部の ~ にこめられた筆者の主張をまとめる問題です。筆者自身が主張に即した形であらためて述べているのが、48行目から63行目にありますので、そこをまとめることとなります。このような記述に際しては制限字数の8割以上書く必要があります。

問8

漢字の勉強も肝要です。

問9

筆者の主張と合う内容のものを答える問題です。アは人間の生活だけをとりあげて「環境再生」に結び付けていますので合致せず、イは「自然再生」の取り組みが原因で共感能力が低下したという趣旨でやはり誤りです。ウも自然に対するやさしさや穏やかさを最優先としているので、これも筆者の主張と合いません。したがってエが正解です。

2

物語文の出典は、伊集院静『機関車先生』（集英社文庫他）です。瀬戸内の島葉名島の小学校における、「機関車先生」と呼ばれる、口のきけない教員吉岡誠吾と生徒たちとの交流を描いた作品です。出題した箇所は、リード文にありますように、本州の浦津に出かけた機関車先生と児童たちが、悪漢たちに囲まれた女性徒を助けに行った場面です。

問1

傍線(1)「生徒たちが一斉に去って行った。」とあります。これは、悪い男たちをやっつけてほしいという生徒たちの期待が裏切られたからですが、なぜやっつけてほしいと思っていたのかを考える問題です。男たちは女性徒に悪さをした上に、4頁上段14行目「葉名島は屁みたいな島じゃから…」と、葉名島を馬鹿にしていますし、同じく4頁下段37行目のヨウのことばにも「葉名島を馬鹿にした」とありますので、これが解答です。

問2

2に入れることばを選ぶ問題です。生徒たちの期待を裏切り殴られ蹴られ続けたのですから、イ無様な が答えです。

問3

傍線(3)「ヨウは返事ができなかった」とあります。傍線個所の少し前65行目からの流れを追ってみますと、殴られても何もしなかったから機関車先生は弱虫だというヨウの主張に対し、るい婆さんは、本当に怖かったのなら逃げていたはずあり、機関車先生は弱虫ではない、とヨウの論拠を崩していっています。その結果、「返事ができなかった」ということで、正解はウとなります。

問4

傍線(4)「『ヨウは機関車先生のことなんか大嫌いじゃ。もう顔も見たくない』」といったときのヨウの心情を問う問題です。ヨウの本心は傍線の4行前の79行目「ヨウは機関車先生が大好き」ということですが、その思わず口に出したことばに対して、81行目「る

い婆さんが笑ったような気がした」ので、からかわれたように感じ、今までのなりゆきから、意地になって打ち消している、ということです。このようなことが書かれていれば結構です。最後は心情としなくてもかまいません。

問5

傍線(5)「誠吾の意志の強さに感謝した」とありますが、誠吾の意志の強さがわかるのは、当然、機関車先生が出ている場面ですので、4頁上段で探すこととなります。そして、25～35字以内の表現ですから、9行目「誠吾は歯を喰いしばったまま殴られても蹴られても相手を睨みつけている」が正解となります。

問6

例年どおりの語句問題です。(一)は「一部始終」(二)は一「一挙一動」二「一長一短」三「一日千秋」四「一言半句」五「一心不乱」となります。

問7

本文を3つの場面に分ける問題です。浦津における悪漢たちと機関車先生たちの場面、ヨウとるい婆さんの場面、小学校の場面に分けられます。の場面は29行目「どうした...」から始まり、の場面は85行目「誠吾が教室...」から始まります。

問8

本文の内容に合致するものを選ぶ問題です。アは「るい婆さんとの関係もおかしくなり、孤立してしまった」が誤り。イは、るい婆さんや周一郎は機関車先生が本当は弱虫ではないと思っていますので、誤り。ウも、この本文の中では、機関車先生は弱虫だという生徒たちの間違いは解消されていないので、誤り。したがってエが正解です。

本校では、明日第2回の入試が予定されております。本日同様、**1**説明文、**2**物語文の大問2題の構成です。説明文では、繰り返し出てくるキーワードに注意しながら論旨を把握すること、物語文では、登場人物の心情を具体的な記述にしたがって読み取ることが、重要です。**1**・**2**あわせて、漢字および語句問題が20点分含まれます。また、前述のように、記述に際しては8割以上書く必要があります。

以上で解説を終わります。ご清聴ありがとうございました。